

1. 科目名 (単位数)	レクリエーションワーク (2単位)	3. 科目番号	GEHL1102
2. 授業担当教員	佐藤 友樹		
4. 授業形態	実技を中心に実施し、適宜講義やディスカッションを行う。	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係			
7. 講義概要	これからの社会の課題としてのレクリエーションについて学習する。まず、ライフステージ (幼児・児童・青年・老年・障がい者等) に対応したレクリエーション支援の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション支援の技術 (個別・グループ・環境) を実践的に身に付け、活用できるようにすることを目的とする。		
8. 学習目標	本講義を履修することによって以下の項目を達成することを目標とする。 1, 日本レクリエーション協会公認指導者資格レクリエーション・インストラクターを取得するために必要な知識・技術を得る。 2, コミュニケーション・ワークの楽しみ方を体験し、知ることができる。 3, 対象者に合わせたレクリエーション支援を企画し、実践することができる。 4, レクリエーション支援を実践することによって、自分自身からまわりの人へレクリエーションを発信できるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・プログラムを立案する (課題レポート)。</li> <li>・レクリエーション大会を企画し、運営する (実技発表)。</li> <li>・全15回の講義内容を踏まえて論述する振り返りレポートを作成する (振り返りレポート)。</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	必要に応じて資料を配布する。		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. レクリエーションの特質を捉えて、自己への挑戦・前向きな姿勢 (出席状況含む) を評価規準とする。</li> <li>2. 実技発表への取り組み姿勢と分かりやすい表現・明瞭かつ論理的なレポートを作成できたか。</li> <li>3. 授業を振り返り、レクリエーションへの考え方や自己への課題を前向きに捉えることができたか。</li> </ol> <p>○評定の方法</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業への積極的参加態度 50% (出席状況や意見発表を含む)</li> <li>2. 実技発表・課題レポート 40%</li> <li>3. 振り返りのレポート 10%</li> </ol> <p>なお、本学規定により、3/4以上の出席が確認できない場合は単位の修得を認めない。 以上の結果を総合して評価をする。</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーションの実施において、画用紙や折り紙などの準備物をお願いすることがある。</li> <li>・レクリエーションを企画して実践できるようになるため、講義内で実施するレクリエーションには積極的に参加すること。レクリエーションへの参加に関して消極的な姿勢は、成績評価に大きく影響し、場合によっては単位を認定することができないので注意すること。</li> </ul>		
13. オフィスアワー	授業内で周知する。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション	事前学習	シラバスに目を通して本授業内容について確認する。
		事後学習	今後の学習計画を立てる。
第2回	レクリエーションの体験① アイスブレイキング	事前学習	「アイスブレイキング」について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第3回	レクリエーションの体験② 幼児期のレクリエーション	事前学習	幼児期の特徴について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第4回	レクリエーションの体験③ 児童期のレクリエーション	事前学習	児童期の特徴について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第5回	レクリエーションの体験④ 青年期のレクリエーション	事前学習	青年期の特徴について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第6回	レクリエーションの体験⑤ 成人期のレクリエーション	事前学習	成人期の特徴について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第7回	レクリエーションの体験⑥ 高齢期のレクリエーション	事前学習	高齢期の特徴について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第8回	レクリエーションの体験⑦ 障がい者のレクリエーション	事前学習	障がいの種類について調べる。
		事後学習	実施したレクリエーションの評価をする。
第9回	プログラム立案	事前学習	これまでに体験したレクリエーションゲームを整理する。
		事後学習	作成したプログラムをチェックする。
第10回	レクリエーション大会の企画	事前学習	レクリエーション大会を企画する。
		事後学習	企画の内容をチェックする。
第11回	レクリエーション大会の準備	事前学習	レクリエーション大会のプログラムをチェックする。
		事後学習	レクリエーション大会の準備を進める。

第12回	レクリエーション大会① 1日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第13回	レクリエーション大会② 2日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第14回	レクリエーション大会③ 3日目	事前学習	レクリエーション大会の準備をする。
		事後学習	レクリエーション大会の評価をする。
第15回	まとめ（授業の振り返り）	事前学習	これまでの授業内容について振り返える。
		事後学習	理想とするレクリエーション支援について考える。